

イギリスで「孤独担当大臣」が新設された

◆孤独は健康リスクや社会的損失を生み出す、国家的な対応が必要

イギリスのメイ首相は2018年1月、「孤独担当大臣」(Minister for Loneliness)のポストを新設し、クラウチ氏を任命したことを発表した。「孤独」に困っている人のため、民間と連携を取りながら省庁を超えた総合的な政策を率いるという。孤独の指標化や地域の結びつきの活動への資金提供なども検討する。16年6月にテロで殺害されたジョー・コックス議員は、「孤独は若者も老人も苦しめる」とし孤独対策の重要性を訴えていた。その遺志を受け継いだ超党派の「ジョー・コックス委員会」の提言に応じての専任大臣の新設だ。同委員会は、赤十字社など13の福祉団体と連携し、約1年間かけて孤独に関する調査を行った。その結果以下のように、子どもから高齢者まで多くの人が孤独を感じていることが分かった。

- ・イギリスでは、人口約6,560万人中900万人以上が、常に、もしくは、しばしば「孤独」を感じている。
- ・65歳以上の360万人は、テレビが友達。月に1度も友人や家族と会話がないう高齢者は20万人。
- ・身体障害者の50%は孤独を感じ、18～35歳の18%が、他人と隔絶されていると感じている。
- ・親の52%が「孤独」の問題を抱え、21%が過去1週間の間に「孤独」を感じている。
- ・17～25歳の43%が「孤独」を訴え、Action for Children（相談窓口）の支援を受けた。

ジョー・コックス委員会は、「孤独が人の肉体的、精神的健康を損なう」と警告し、「孤独は、たばこを1日に15本吸うと同じくらい、健康に害を与える」としている。同委員会の試算によれば、孤独がイギリスの国家経済に与える損失は、年間320億ポンド（約4.9兆円）に上る。健康を損なうことによる保健医療サービスの増大や、コミュニティからの断絶による生産性の低下などが影響する。

孤独が健康に及ぼす悪影響については、別の研究でも指摘されている。

孤独の健康リスクを研究している米ブリガムヤング大学のジュリアン・ホルトランスタッド教授が発表した研究結果によれば、孤独の健康リスクは「アルコール依存症に匹敵」「運動をしないことよりも高い」「肥満の2倍高い」という。

孤独は、人の健康リスクを引き起こすものと考えられる。

◆日本でも孤独を感じている若年層は多い

イギリスで孤独担当の大臣まで誕生したというニュースは、世界で反響を巻き起こした。「国がそこまでやるのか」「孤独で何が悪い」という反応もあったが、たとえばドイツでは、「18～29歳の17%が、絶えずまたはしばしば孤独を感じている」など具体的な数値を挙げ、自分の国でも対策が必要だとする意見もあった。

日本でも、孤独に関する調査は過去にいくつか行われており、その結果をみると、決して孤独の問題は他国のこととは言えない実情がある。

たとえば、少しデータは古いが、07年に発表されたユニセフが先進国21カ国で15歳の子どもに行った調査によると、「孤独を感じる」という回答は、日本が1位で29.8%だった。2位のアイスランドは10.3%、3位のポーランドは8.4%にとどまり、ドイツは6.2%、イギリスはわずか5.4%だった。日本は突出している。

内閣府が13～29歳を対象にした「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査（平成25年度）」によれば、「この1週間で一人ぼっちで寂しいと感じたことがあるか」という問いに、日本人は「あった」が54.9%（なかった45.1%）で、イギリスの「あった」39.3%やアメリカの33.7%、ドイツの27.1%よりもはるかに多い。

日本の子どもや若年層は、イギリス以上に孤独を感じている結果となっている。

◆日本の高齢者も今後は孤独が大きな問題になるかもしれない

日本の高齢者はどうなのか。日本はいまのところ、欧米諸国と比較すると高齢者の単独世帯数の割合が低い。65歳以上の者がいる世帯の構成をみると、単独世帯は平成28年で27.1%にとどまり、夫婦のみの世帯の31.1%を下回る。しかし、高齢単独世帯の割合は平成元年の14.8%から毎年増加している。

12年の国立社会保障・人口問題研究所の「生活と支えあいに関する調査」では、65歳以上の単独世帯男性の16.7%は「2週間に1回以下」しか会話がないうという結果だった。また、日本は欧米諸国と比べると、親族以外との会話が少ない傾向にある。内閣府が15年に行った「高齢者の生活と意識による国際比較調査」によると、日本では「相談や世話をしあう親しい友人がいる」割合は73.1%で、ドイツの82.2%、アメリカの84.7%、スウェーデンの90.5%と比較すると低い。高齢化が進行し、高齢単身世帯の増加が予想される日本では、家族以外に話し相手のいない高齢者の孤独の問題が、今後は顕在化しそうだ。 【赤山英子】